

すてきな世界へようこそ

北杜市図書館では、各図書館でおはなし会を開催しています。
おはなしだけではなく、紙芝居・手あそび・わらべ歌なども行っています。

すてきな本の世界を、お子さんと一緒に楽しみましょう。どうぞお気軽にご参加ください。

北杜市図書館のおはなし会

★明野図書館

・おはなし会（乳幼児～） 毎月第2木曜日 午後2時～

★すたま森の図書館

・アリスおはなし劇場（乳幼児～）
毎月第1水曜日・第3土曜日 午前10時30分～

★たかね図書館

・ひよこのおへや（乳幼児～） 毎月第3水曜日 午前10時30分～
・おはなしの国（幼児～） 毎月第4日曜日 午前10時30分～

★ながさか図書館

・おはなしのへやにあつまれ（乳幼児～）
毎月第2金曜日 午前10時30分～
・くるりくらのおはなし会（幼児～） 毎月第3土曜日 午後2時～

★金田一春彦記念図書館

・おはなしの杜（幼児～） 毎週土曜日 午後3時～
・いずみにこにこタイム（乳幼児～）
毎月第2水曜日 午前10時30分～

★小淵沢図書館

・えほんのもり（乳幼児～） 毎月第3日曜日 午前11時～

★ライブラリーはくしゅう

・おはなしひろば（乳幼児～） 毎月第2土曜日 午前11時～

★むかわ図書館

・おはなし玉手箱（乳幼児～） 毎月第3金曜日 午前10時30分～



読書マラソン 2023

—いっしょに読もうよ、この絵本—

乳幼児用



（このリストに載っている本は図書館で借りることができます）

発行日 2023年4月23日 編集・発行 北杜市図書館

北杜市図書館

ちいさなちいさなあかちゃんに ～読みつがれている絵本から～



あおくんときいろちゃん

レオ・レオーニ／作 藤田 圭雄／訳 至光社 1979 年

あおくんときいろちゃんはとってもなかよし。ある日、あおくんはきいろちゃんと遊びたくておうちに行ったけど、家にはだれもいない。やっと会うことができた2人は公園でなかよくあそんでいたが…。



いないいないばあ

松谷 みよ子／文 瀬川 康男／え 童心社 1967 年

赤ちゃんは「いないいないばあ」が大好き。ねこちゃん、くまくん。次のいないいないは、だれかな？



おさじさん

松谷 みよ子／文 東光寺 啓／絵 童心社 1969 年

おさじさんはおいしいものをお口へ運ぶ汽車ぽっぽ。おさじさんに手伝ってもらえば熱いおかゆも平気だよ。なんでもひとりでやりたがる時期にぜひどうぞ。



おつきさまこんばんは

林 明子／さく 福音館書店 1986 年

おつきさまが顔を出したよ。でも、くもさんがおつきさまの顔を隠しちゃった。おつきさま、顔をみせて。



がたんごとんがたんごとん

安西 水丸／さく 福音館書店 1987 年

がたんごとん がたんごとん 「のせてくださーい」
みんな無事に目的地へたどり着けるかな？

★本の名前

★ひと言メモ

★読んだ日

年 月 日 才

★本の名前

★ひと言メモ

★読んだ日

年 月 日 才

★本の名前

★ひと言メモ

★読んだ日

年 月 日 才

★本の名前

★ひと言メモ

★読んだ日

年 月 日 才

★本の名前

★ひと言メモ

★読んだ日

年 月 日 才

★本の名前

★ひと言メモ

★読んだ日

年 月 日 才

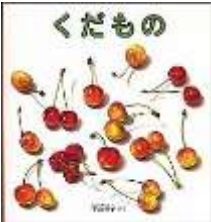
すこし大きくなったら・・・～読みつがれている絵本から～



かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／さく じんぐう てるお／やく
富山房 1975 年

いたずらをして大あばれするマックスを、お母さんは「このかいじゅう！」と言って寝室に入れてしまう。すると寝室に木が生えだし、なんとかかいじゅうが現れた！



くだもの

平山 和子／さく 福音館書店 1981 年

すいか、さあ、どうぞ。りんご、さあ、どうぞ。思わず手をのぼしてしまう絵本。



ぐりとぐら

中川 李枝子／さく 大村 百合子／え
福音館書店 1981 年

散歩の途中で大きなたまごを見つけた ぐりとぐら。2人は森の中でカステラを作ったよ。大きなフライパンの中のカステラのおいしそうなこと！



三びきのやぎのからがらどん

マーシャ・ブラウン／え せた ていじ／やく
ノルウェーの昔話 福音館書店 1965 年

「からがらどん」という名前の3びきのやぎが橋を渡ろうとしている。しかし橋の下にはおそろしいトロルが！このピンチをどうやって切り抜けるのか！？



しょうぼうじどうしゃじふた

渡辺 茂男／さく 山本 忠敬／え 福音館書店 1979 年

じふたはちいさな消防車。消防署のすみっこで誰にも相手にしてもらえない。ところがある日、山奥で火事発生！ここでじふたの出番だ。頑張れじふた！

♪読み聞かせ こんな本がおすすめ♪

♪読み聞かせの参考に♪ ＊北杜市図書館で借りることができます。

『絵本でひろく心とことば』本と子どもの発達を考える会：著 かもがわ出版

『絵本は心のへその緒』松居 直：著 ブックスタート

『赤ちゃんが大好きな絵本』赤木かん子・加藤美穂子：著 河出書房新社

『読みたい絵本』momo 編集部：著 マイルスタッフ

『よみきかせのきほん』東京子ども図書館

『ことばの贈りもの』松岡享子：著 東京子ども図書館

『藤田浩子の手・顔・からだでおはなし』藤田浩子：編著 一声社

『子どもと読みたい絵本200』洋泉社

♪子育て応援図書コーナー♪

北杜市図書館全8館では、ふるさと納税の寄附金を活用し、「子育て応援図書コーナー」を設置しています。

子育てに関する不安や悩みを解消し、楽しい子育てを応援する本がたくさんあります。

ぜひご利用ください。





読み聞かせをした記録を残しましょう。

★本の名前	★本の名前
★ひと言メモ	★ひと言メモ
★読んだ日 年 月 日 才	★読んだ日 年 月 日 才

★本の名前
★ひと言メモ
★読んだ日 年 月 日 才

★本の名前	★本の名前
★ひと言メモ	★ひと言メモ
★読んだ日 年 月 日 才	★読んだ日 年 月 日 才



きんぎょがにげた

五味 太郎／作 福音館書店 1982 年

きんぎょがにげた！家の中をにげまわっているよ。ほら、またにげた。隠れることが上手なきんぎょをみつけられるかな？



しろくまちゃんのほっとけーき

わかやま けん／絵 森 比左志・わだ よしおみ／文
こぐま社 1972 年

しろくまちゃんがほっとけーき作りに挑戦！卵を割って、お粉をまぜて。ほら、いいにおいがしてきたよ。



たまごのあかちゃん

かんざわ としこ／ぶん やぎゅう げんいちろう／え
福音館書店 1993 年

「たまごのなかで かくれんぼしている あかちゃんはだあれ？でておいでよ。」呼びかけると、出てくる出てくる…。



とりかえっこ

さとう わきこ／作 二俣 英五郎／絵 ポプラ社 1978 年

ぴよぴよ。このなき声はひよこさん。ちゅうちゅうは？ねずみさん？いいえ、違います。じゃあ、ぶうぶうは？ぶたさん？いいえ、違います。だってなき声“とりかえっこ”したんだもん。



はらぺこあおむし

エリック・カール／さく もり ひさし／やく
偕成社 1976 年

生まれたてのちいさなあおむしが食べ物をつとめていく。りんご、なし、すももにケーキにアイスクリーム…。食べすぎたあおむしはどうなるのかな？

よみきかせQ&A



読み聞かせってした方がいいの？

読み聞かせをすると、こんなにもいいことが！！

- ★親子のコミュニケーションがとれ、絆が生まれる。
- ★豊かな心が育つ。
- ★想像力が育つ。
- ★ことばの引き出しが増える。



読み聞かせのコツは？

子どもが喜ぶ読み聞かせのコツを紹介！！ Let's Try！！

- ★親も読み聞かせを楽しむ。大人が楽しむと子どもも夢中に♪
- ★読み聞かせに集中する。テレビやスマホの音は消して♪
- ★子どもの反応を見ながら読む。絵をじっくりみていたら、ちょっと待って♪
- ★絵本にあわせて読み方に変化をつける。

ユーモア絵本のときは強弱をつけたり、声色を変えたり。寝る前なら、静かにゆっくり♪



どんな本を選べばいいの？

- 【0歳児】絵が大きくシンプルな本がおすすめ。
- 【1歳児】食べ物や動物など、身近なものが描かれた本や、リズム遊びが楽しい本がおすすめ。
- 【2歳児】主人公に感情移入できる絵本を少しずつ取り入れて。
- 【3歳児】ストーリーを重視した絵本の本格デビューをしてみても。
- 【4・5歳児】登場人物に感情移入できるような長いストーリーにも少しずつチャレンジ。

★図書館では、本選びのお手伝いをします。お気軽にご相談ください。



そらまめくんのベッド

なかや みわ／さく・え 福音館書店 1999年

さやえんどうくんやえだまめくんたちのベッドは自分のさや。特にそらまめくんのベッドは大きくてふわふわで大事な宝物。でもその大事なベッドがなくなったから、さあ大変！



ティッチ

パット・ハッチンス／さく・え いしい ももこ／やく 福音館書店 1975年

ティッチはちいさな男の子。ティッチが持っているもの全部、お兄さんたちよりちいさかったけど、ちいさくてもすてきなものがあつたんだ。



てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ／え うちだ りさこ／やく ウクライナ民話 福音館書店 1965年

雪の中に落ちていた片方のてぶくろに、次々と動物が住みついた。おかげでてぶくろははちきれそう！



ねずみくんのチョッキ

なかえ よしを／作 上野 紀子／絵 ポプラ社 1974年

お母さんがあんでくれた赤いチョッキ。ねずみくんにとってもよく似合っている。友だちに「ちょっときせてよ」と言われ、貸してあげたのはいいけれど…。



はじめてのおつかい

筒井 頼子／さく 林 明子／え 福音館書店 1977年

はじめてひとりでおつかいに行くことになったみいちゃん。お店に着いても「牛乳ください」の一言が出てこない。やっとの思いで言ったとたん、涙がぼろん。

あたらしい絵本から

～乳幼児向け～

すぽっじー

高橋 祐次/作 講談社

絵本の中で砂場を体験！最初は砂を触ってみよう。次は指で進んでいくよ。まっすぐ、かくかく、くねくね、穴や川、山もある。最後はお城、登ったり下ったり。ゴールまでいけるかな。

おとうとがおおきくなったら

リィー・ラ・ナ/文 ズディ・ワトソ/絵
当麻 ゆか/訳 徳間書店

僕の弟・テオはまだ寝てばかりの赤ちゃん。大きくなったら一緒に自転車でジャングルに行き、ボートで海へ行って…と夢は広がる。弟と遊ぶのを待ち遠しく思っている僕の姿が愛らしい。

えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日

松岡 享子/原案・文 降矢 なな/文・絵 福音館書店

一日中まめまめしく働く二人。何かを始めると、途中で他のことをやり始めてしまうという繰り返しをユーモラスに描く。二人の毎日が優しく温かくて、幸せな気持ちをもらえる絵本。

おとがあふれてオムライス

夏目 義一/さく
福音館書店

今日のお昼ごはんは、お父さんと一緒に作るオムライス！野菜を切る音、フライパンでケチャップを混ぜる音、卵を焼く音…。ページをめくる度に、たくさんの美味しそうな音が聞こえてくる。

いっしょだねいっしょだよ

きむら だいすけ/作
講談社

動物の親子はいつもいっしょ。遊びも狩りもお散歩も一緒に楽しいね。すべてのページにかくれているフンコロガシも探してみよう。

あたらしい絵本から

～幼児向け～

バスにのるひ

はせがわ さとみ/作
nakaban/絵 絵本塾出版

山に住むきつねの子は、人間の町に住むおじさんに会いに、初めてバスに乗ります。人間の姿に化けて、さあ出発。ちゃんとおじさんのいるバス停で降りられるかな？最後はちょっとした驚きが…。

くらべるえほん たべもの

ちかつ たけお/さく・え
学研プラス

なにがちがう？どこがちがう？似たような食べ物が2つ並んでいる絵をよーく比べてみよう。正解は1つじゃない。親子で楽しみながら、自分なりの違いを見つける絵本。

ピンクはおとこのこのいろ

ロブ パールマン/文 イダ カバン/絵 ロバート キャンベル/訳
KADOKAWA

ピンクは女の子？青は男の子？そんな決まりなんてない。世の中にある全ての色は、みんなのもの。自分が好きな色を選んでいいんだ。読みながら、ジェンダーについて学べる絵本。

おしりじまん

齋藤 槇/さく
福音館書店

動物たちのいろんなおしり。まあるいおしり、大きいおしり。しましまおしりにしろくろおしり。みんな自慢のおしりたち。個性あふれるおしりを魅力たっぷりに紹介した一冊。

ひみつのさくせん

ニコロ・カロツィ/さく
橋本 あゆみ/やく 化学同人

ねずみと金魚はとっても仲良し。ある日いつものように遊んでいると、金魚鉢に怪しい影が忍び寄る。小さなねずみは大切な友達を守れるのか。さあ、勇気を出して突き進め！
“ひみつのさくせん” 開始！